

## 削減計画実施状況報告書（内容）

事業所名	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院
事業所の所在地	千葉県柏市柏の葉 6 - 5 - 1
事業所の主たる業種及び事業概要	病院
報告期間	令和 5 年度分
温室効果ガス排出量報告	<p>◎基準年度 <u>12,216</u> t-CO<sub>2</sub>（令和 3 年度）</p> <p>◎当該年度 <u>12,395</u> t-CO<sub>2</sub>（内訳は別紙 1）</p> <p>◎対基準年度削減量 <u>-179</u> t-CO<sub>2</sub></p> <p>◎対基準年度削減率 <u>1.5</u> %増加</p> <p>◎目標年度 <u>12,198</u> t-CO<sub>2</sub>（令和 6 年度）</p>
温室効果ガス削減実施内容 （増加している場合は、その理由と今後の対策も記入する）	<p>・増加理由</p> <p>1. R4 年度報告書での増加理由と同様に、電力料金削減の為、例年でのオフシーズン中にも常用発電機(ガス燃料)を運転した。その為、商用電力量は削減され、電力より CO<sub>2</sub> 排出量係数の高いガス消費量が増加した。仮に常用発電機の運用を例年通り(常用発電機年間発電量を H30~R3 年度の平均)として試算した場合、それぞれ年間の使用量は、他人から供給された電気の使用量 19,309,961kWh、都市ガス(京葉ガス)中圧の使用量 1,530,336 m<sup>3</sup>で、CO<sub>2</sub> 排出量は約 12,359t になり、当該年度(R5 年度)の排出量 12,395t より 36t 減少する。</p> <p>2. R5 年度夏季(7~9 月)14 時計測の平均外気温は、基準年度(R3 年度)より 2.5~5.4℃も高く、外気負荷が増加した。また空調設備の運用においても、通院治療センター系統空調機運転スケジュールを 1 日 6 時間増加、新型コロナウイルスでの換気対策としてナースステーション窓の常時開放と、それに伴う冬季夜間では窓からの寒気流入の為、ナースステーション系統空調機設定温度の昇温対応を実施し、CO<sub>2</sub> 排出量増加に繋がる運用変更があった。</p> <p>上記 1.2. の理由により、基準年度より CO<sub>2</sub> 排出量が増加した。</p> <p>・今後の対策 外来診察室エリア照明を LED 化。</p>